



LINE



Facebook



当行は、環境省認定  
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



当行は、気候変動キャンペーン  
「Fun to Share」に賛同しています。

# なるほど しがぎん

2019年4月 1日～2020年3月31日



未来を描き、  
夢をかなえる。

*Sustainability  
Design Company*

SHIGA BANK

## ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

2020年は年明けから新型コロナウイルスの感染が拡大し、3月には世界保健機関(WHO)が「パンデミック(世界的な大流行)」と認定しました。罹患された皆さま、感染拡大で被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

当行は、地域経済の安定に向け、資金繰り支援、経営相談等に全力で取り組んでおります。ご相談等ございましたら、最寄りの滋賀銀行本支店に何なりとお申し付けください。

さて、2020年3月期の業績は、長引く低金利の影響もあり、当期純利益(連結)は22億円減の124億円と、2期ぶりに減益となりました。また、預金残高(譲渡性預金を含む期中平均残高)は1,275億円増の4兆9,315億円、貸出金残高(期中平均残高)も1,034億円増の3兆8,002億円となりました。

当行は「自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会」を長期ビジョンに掲げ、皆さまとの「共創」による持続可能な社会の実現を目指しています。現在進める第7次中期経営計画(2024年3月まで)では、「課題解決型金融情報サービス業」への進化を目指し、コンサルティング機能の強化に取り組んでいます。今年度は銀行本体での信託業務の取り扱いに加え、グループ会社の株式会社しがぎん経済文化センターにおいて人材紹介事業を開始いたしました。

当行は、これからも持続可能な地域社会の実現に努めてまいりますので、皆さまのより一層のご愛顧、ご支援を心よりお願い申し上げます。

2020年6月

取締役頭取

高橋 祥二郎



## CSR憲章 [経営理念]

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

行是  
自分にきびしく  
人には親切  
社会につくす

### 地域社会との 共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

### 役員員との 共存共栄

役員員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

### 地球環境との 共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

## 滋賀銀行データ

名称 株式会社 滋賀銀行  
THE SHIGA BANK, LTD.  
本店所在地 滋賀県大津市浜町1番38号  
設立 1933年10月1日  
総資産 6兆2,718億円  
預金残高 4兆9,716億円  
(譲渡性預金含む)  
貸出金残高 3兆8,788億円  
資本金 330億円  
従業員 1,989人  
店舗数 133カ店(うち代理店25カ店)  
(2020年3月31日現在)

## CONTENTS

- ごあいさつ ..... 1
- トピックス① 進みゆく課題解決型金融情報サービス ..... 3~4
- 第7次中期経営計画 ..... 5~6
- 個人のお客さまへ ..... 7~8
- 法人のお客さまへ ..... 9~10
- CSRの取り組み ..... 11~12
- 財務データ ..... 13~20
- トピックス② えるぼし取得 ..... 21
- トピックス③ おにぎり食べます宣言 ..... 22

## 進みゆく課題 ～地域の課題、私たちにお任せ

## 解決型金融情報サービス ください～

地域金融機関ならではのノウハウとネットワークで地域とお客

さまの課題を解決します。

### 夢のある農業で 地域の発展に貢献！



国内有数の経営規模で夢のある農業を実現し地域経済の発展に貢献するという理念のもとに、株式会社アグテコ様(野洲市)が同市にフリルレタスを水耕栽培する大型施設を建設され、今春から栽培を始められました。

太陽の光を浴びて育ったフリルレタスの葉は肉厚でみずみずしく、食感はシャキシャキ。農業に対するイメージを覆す、スタイリッシュで効率の良い栽培システムで地域に新たな雇用を生み出されています。

日本の農業が抱える高齢化や人手不足などの課題解決に向けたこの取り組みに、当行は事業資金をご提供するほか、ネットワークを活用した販路開拓の支援等を行っています。



### ～後継者育成の秘訣を伝授～

### 円滑な事業承継をサポートします！

経営者にとって事業承継は「一世代の大仕事」。当行は、経営者と後継者の夢のかけはしとなって成功に導くため、後継者育成コンサルティングなどのサポートを実施しています。

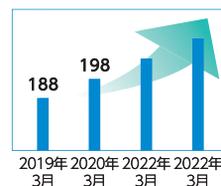
たとえば、ご自身が十分な引継ぎを受けられずに困った経験から、「後継者にはそんな苦勞をさせたくない」とご相談いただいたケース。当行はまず経営者の夢や想いを十分ヒアリングした後、①経営理念②財務分析③経営分析④戦略策定⑤事業計画策定といったカリキュラムを通じて、最終的には後継者に会社のあるべき将来像を明確にさせていただきました。

後継者育成は自然に進むものではなく、計画的に着手することが重要です。ご関心のある方はぜひご相談ください。

### 多様な学びの場の提供

幅広い分野の知識習得や旬の話題の提供を目的に、休日を活用した『課店長セミナー』『ゆとりプランセミナー』を開催。年間延べ2,500名を超える職員が、休日を利用し、自己研鑽に励んでいます。年間20講座程度を開講し、“学びの場”として定着しています。また、高度なコンサルティング活動を行うていくうえで必要なFP1級取得を特に推奨しています。

FP1級取得者数推移



# 第7次中期経営計画

## メインテーマ

### 「未来を描き、夢をかなえる」

「未来を描き、夢をかなえる」がメインテーマの第7次中期経営計画は、今年4月から2年目に入りました。初年度に資産運用の専門チームを新設するなどサービス向上の取り組みを進めています。これからもお客さまや地域の課題解決を起点とする行動に努めてまいります。

～持続可能な社会に向けたアクションの道標～

## サステナビリティビジョン(長期ビジョン)

地域の明るい未来を実現し、当行が果たすべき責任と役割を認識するための長期的なビジョンを策定しています。



※詳細は当行ホームページにて掲載しています。

## 第7次中期経営計画(2019年4月～2024年3月)

### 概要

#### 目指す姿

「Sustainability Design Company」  
～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

#### メインテーマ

未来を描き、夢をかなえる  
～お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

#### 未来創造 挑戦項目



### 挑戦指標

挑戦指標	2022年3月計画	2024年3月計画
SD目標*	Sustainable Development 推進投資	(新規投資額累計) 5,000億円
	地域顧客の価値向上サポート (コンサルティング相談件数)	年間850件 年間1,000件
	地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」)	2,200億円 3,000億円
	温室効果ガス排出量削減(%) (2013年度比較の削減率)	25%削減
	SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動 次世代人材の育成活動	(研修等の実施人数累計) 5,000人
収益目標	親会社株主に帰属する当期純利益(連結)	最終年度 100億円以上
	顧客向けサービス業務利益	20億円 30億円

(※)SD(Sustainable Development)目標…地域の持続的発展につなげる目標

長期的挑戦指標	長期的指標
ROE(連結)	5%以上
OHR	65%未満



# 生涯にわたって「頼れる しがぎん」へ

## ～人生100年時代のパートナーとして～ お客さまの資産形成をサポート

お客さまのライフプランに応じた適切な商品・サービスの提供に努めています。

10歳代	20歳代	30～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以降
	就職	結婚／子育て／マイホーム		セカンドライフ	相続
ジュニアNISA	積立型商品 (iDeCo(個人型DC)、NISA(一般、つみたて)、投信積立、平準払型保険)			退職金スペシャル定期 退職金専用ツインプラン	贈与 遺言／相続
				年金定期	
資産運用アドバイザー・休日相談店舗での資産運用相談					
保険コンサルティング(各種保険の見直し、医療保険・がん保険の取り扱い)					

### 『しがぎん』で資産形成

豊富なラインナップからお客さまのニーズに合った質の高い提案と、アフターフォローを行います。

## ライフプランガイドを ご活用ください



お客さまのライフステージに合わせたご提案や資産形成に有効な

制度・各種商品のご案内など、お客さまに役立つ情報を掲載しています。

## 信託でさらにお客さまに寄り添ったご提案が可能に！

信託業務の兼営認可を取得し、銀行本体での取り扱いを開始しました。遺言代行信託、遺言信託、遺産整理業務の3種類をご提供しています。

従来は、相続や遺言でお悩みのお客さまに信託銀行等の商品・サービスをご紹介してきましたが、今後は、



認可証授与式の様子

当行でワンストップのお手続きが可能になります。これからはより充実した提案・サービスを提供してまいります。

## お客さまの声を大切にしています

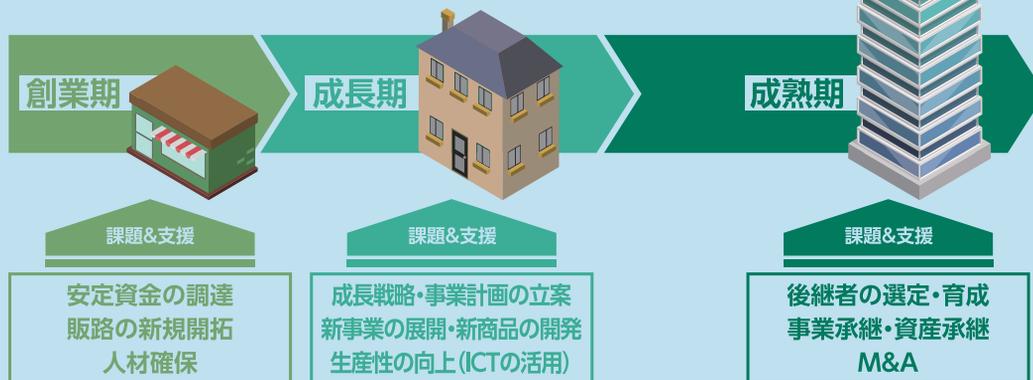
店頭に設置の「コミュニケーションカード」や、郵送による「お客さまアンケート」等を通じてお客さまの声を聴きし、いただくご意見は、当行が発展していくための大切な「財産」であるとの考えで商品・サービスの改善に取り組んでいます。また、年に一度外部機関によるモニタリングを実施し、店頭での対応状況の点検、改善に努めています。



# 企業のライフステージに 応じた 最適なソリューションを 提供します



～お客さまの幅広いご相談にお応え～  
コンサルティング業務



中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を持つ行員が、外部機関や専門家と連携し、企業のライフステージに応じたさまざまな課題解決をお手伝いします。

## 人にまつわる課題解決をサポート 人材紹介事業を開始しました！

お客さまの人材面におけるサポートを強化するため、当行グループ会社の株式会社しがぎん経済文化センターは、有料職業紹介事業の許可を取得し、4月1日より人材紹介事業を開始しました。また、お客さまの生産性向上など経営課題解決に向けて経営幹部などのハイレベル人材の紹介を行うことについて、内閣府の「先導的人材マッチング事業」の間接補助事業者に採択されました。

これからも、お客さまの経営課題の解決にグループを挙げて取り組みます。



## 新規事業の創造を目指して ニュービジネスサポート「サタデー起業塾」

旺盛な起業家精神をサポートするため、「サタデー起業塾」によりビジネスのヒントを提供。ビジネスプランコンテスト「野の花賞」では、新規性の高い事業に取り組まれている事業者を表彰しています。



## 円滑な事業承継による持続可能な地域経済の実現 事業承継・M&A

社会の環境変化により、中小企業経営者の高齢化、後継者不足等が大きな社会課題となっています。当行はTSUBASAアライアンスのネットワークも活用し、円滑な事業承継・M&Aをサポートすることで地域経済を担う企業の発展をサポートしています。



# ESG金融で持続可能な社会の実現を

## 第1回 ESGファイナンス・アワード・ジャパン 銀賞（環境大臣賞）



記念直を持つ高橋頭取と小泉環境大臣

当行は2020年2月、「第1回ESGファイナンス・アワード・ジャパン」の融資部門で銀賞（環境大臣賞）を受賞し、小泉進次郎環境大臣から表彰を受けました。本アワードは環境省が創設した表彰制度で、ESG金融やグリーンプロジェクトに積極的に取り組み、環境や社会に優れたインパクトを与えた企業や金融機関等を表彰することで、ESG金融を普及・拡大することを目的としています。



### ESG金融とは？

企業の分析・評価を行う際に、長期的な視点を重視し、環境（Environment）、社会（Social）、企業統治（Governance）を考慮した投融資行動をとることで、企業や社会に対してESGに配慮した行動をとることを促す取り組みです。持続可能な社会の実現に向けて当行はESG金融に取り組んでいます。

# 社会の実現を

## しがぎんのESG投資

持続可能な社会の実現に向けて、ESG（環境・社会・ガバナンス）の要素を取り込んだ有価証券運用を実践しています。

### ■ ESG投資の例 ■ 投資実績の推移

#### ソーシャルボンド

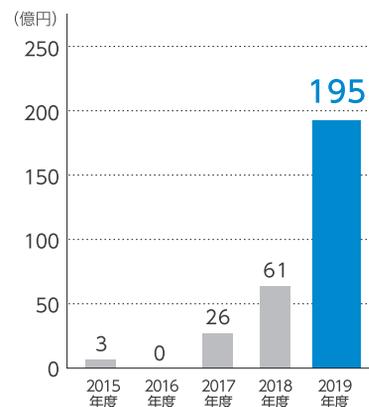
基礎インフラ開発や社会サービスなど、社会的課題の解決に資する事業を資金使途とする債券。

#### グリーンボンド

企業や地方自治体が、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達するために発行する債券。

#### サステナビリティボンド

調達資金の使途を、環境改善効果のあるグリーンプロジェクトおよび社会的課題の解決に資するソーシャルプロジェクトに限定して発行する債券。



### 地域の福祉向上を願って

## しがぎん福祉基金助成先を決定

社会福祉法人しがぎん福祉基金は、2020年度の助成先として8団体を決定し、総額812万円を助成しました。同基金は、地域福祉の向上を願い、滋賀銀行創立50周年記念事業として1984年に設立。滋賀県内で取り組まれている福祉の実験的・開拓的な事業や活動に対して幅広く助成しており、第1回以来の助成累計は、498件・総額4億4,837万円となりました。





# お客さまと地域の成長のために、 ともに歩んでまいります

## 個人・法人ともに順調に増加

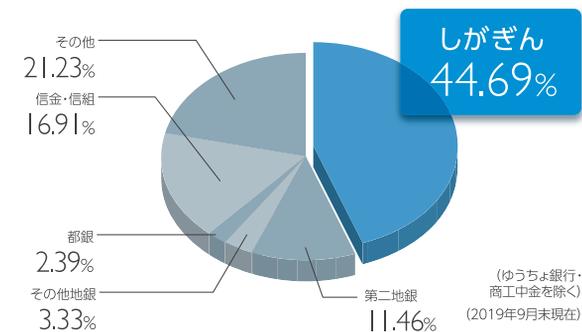
### 預金等

当期末地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は、前期比1,275億円増加し、4兆9,315億円と順調に推移しました。うち、コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆5,797億円で同955億円の増加となりました。

預金等（譲渡性預金含む）期中平均残高



預金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入

## 事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

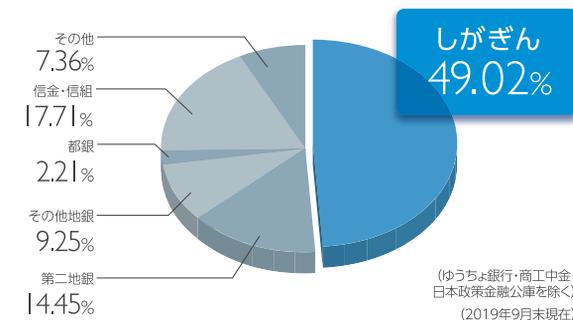
### 貸出金

当期末、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加し、期中平均残高は3兆8,002億円となりました。前期比1,034億円、2.79%の増加となりました。

貸出金 期中平均残高



貸出金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入



# 資産の運用も お任せください

## 多様な資産運用ニーズを親身にサポート

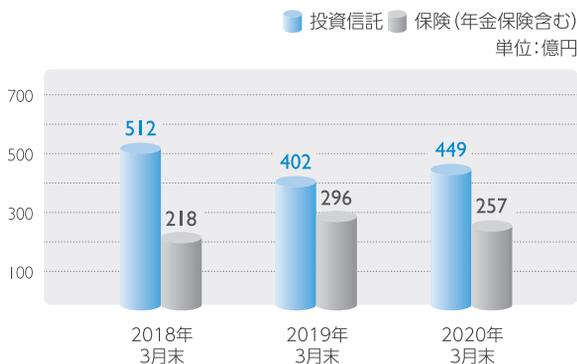
### 預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高（取扱保険料累計額含まず）は、2,188億円で、前期末比172億円の減少、うち個人の預り資産残高は、2,005億円で、前期末比181億円の減少となりました。期中販売額は投資信託が47億円増加の449億円、保険が39億円減少の257億円となりました。

### 預り資産残高



### 投資信託・保険期中販売額



# 格付は安心の 「Aクラス」を確保

## 2つの格付機関が「A+」と高い評価

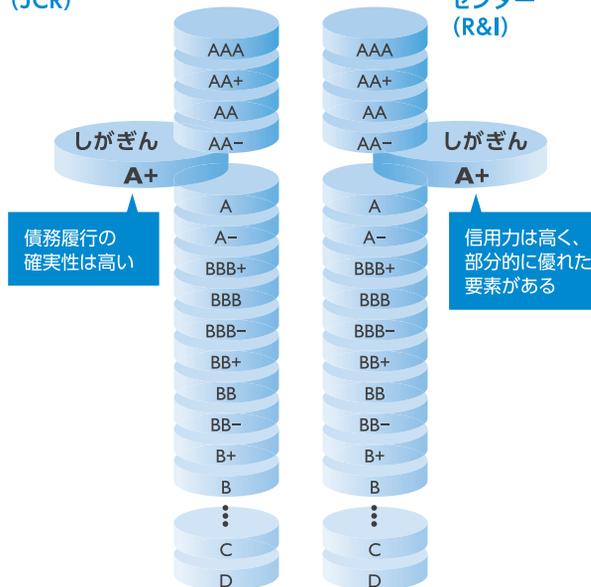
### 格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

### 日本格付研究所 (JCR)

### 格付投資情報センター (R&I)



### 用語説明

#### 格付

銀行預金の元金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。



# これからも「安全」「健全」な経営に努めます

## 自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

### 自己資本比率 (連結)

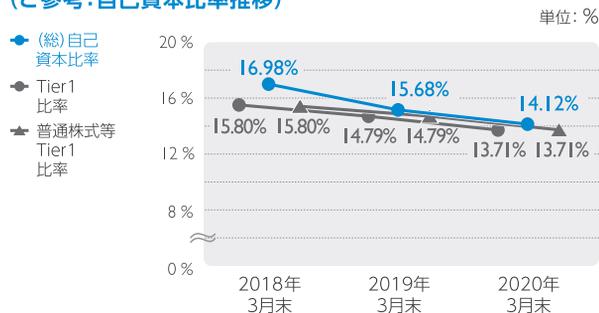
自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を測る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は14.12%（バーゼルⅢ基準、2020年3月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

### 2020年3月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	14.12%	8.0%以上
同 Tier1比率	13.71%	6.0%以上
同 普通株式等Tier1比率	13.71%	4.5%以上

※バーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

### (ご参考:自己資本比率推移)



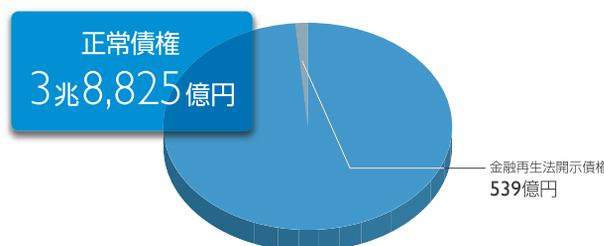
### 用語説明

#### 自己資本比率

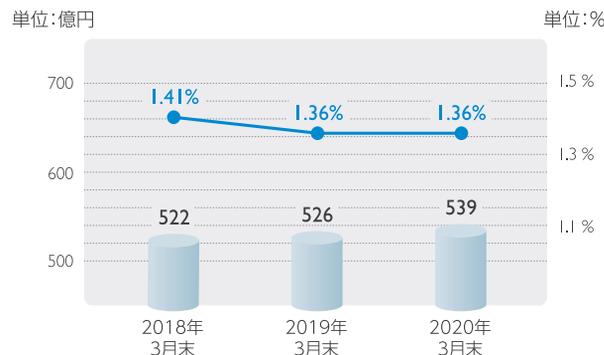
銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（バーゼルⅢ）が2013年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

## 不良債権の状況

当行の金融再生法に基づく開示債権の合計は539億円（前期末比12億円の増加、総与信に占める比率は1.36%となりました）。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は70.05%で同3.39%の低下となりました。



## 金融再生法開示債権



### 用語説明

#### 不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

# お知らせします、 しがぎんの業績



## 業績ハイライト(単体)

- 貸出金利息や有価証券配当金の減少等により、資金利益は前期比15億円減少しました。役員取引等利益は前期比11億円増加し、その他業務利益も同13億円増加したことから、業務粗利益は同9億円増益の535億円となりました。
- 経費はシステム投資等による物件費の増加を主因として、全体で前期比1億円増加し、実質業務純益は同8億円増益の130億円となりました。
- 臨時損益は、株式等関係損益が前期比82億円減少したこと等により全体で同70億円減少し、経常利益は同72億円の減益となりました。一方、滋賀県外の不動産を売却したことで特別損益が前期比39億円良化しました。また、法人税等合計は前期比9億円減少しました。
- これらの結果、当期純利益は118億円となり前期比23億円の減益となりました。

## 業務粗利益

銀行本来の業務(貸出業務、為替業務、有価証券運用など)から得た利益です。

単位:億円



## 業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。  
 $\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費(人件費、物件費など)} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$  単位:億円



## 経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

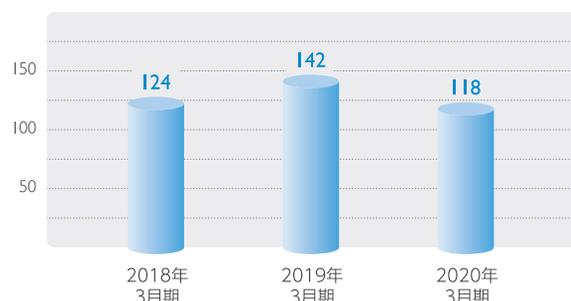
単位:億円



## 当期純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な当期の利益です。

単位:億円



## 厚生労働大臣認定 「えるぼし」取得

女性の活躍推進に関する  
取り組みが評価され  
「えるぼし」認定 二つ星を取得



1月29日、女性の活躍推進に関する取り組みが優良な企業に与えられる「えるぼし」認定の二つ星を取得しました。



### 「えるぼし」認定とは？

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(以下、「女性活躍推進法」)に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍推進に関する状況などが優良な企業が厚生労働大臣より認定される制度です。採用されてから仕事をしていく上で、女性が能力を発揮しやすい職場環境であるかという観点から、採用・継続就業・労働時間等の働き方・管理職比率・多様なキャリアコースという5つの評価項目が定められています。

### 当行の主な取り組み

- ・新卒採用にあたり、エントリーシートの性別欄を廃止
- ・19時以降の残業を原則禁止。早帰り日の制定、励行
- ・育児支援制度利用対象者を「小学校就学前の子」から「小学校4年生の始期に達するまでの子」を養育する職員まで拡大
- ・非正規社員から正社員への転換ルールを制度化 (毎年募集、選考を実施)

今後も、女性活躍とダイバーシティ(多様性)を促進し、多様な個性・価値観を持つ職員が意欲と能力を十分に発揮し、活躍できる企業づくりに努めます。

## 「おにぎり 食べます宣言」

おにぎりで子どもたちを応援する取り組みに賛同  
「おにぎり食べます宣言」を行いました！

2月3日、「野洲のおっさんおにぎり食堂」(大津市長等二丁目3-40)で、「おにぎり食べます宣言」を行いました。おにぎりの販売収益で子ども食堂の運営を行う「おにぎりにっこりプロジェクト」の趣旨に賛同するもので、この活動を周知し、協力していくことを誓いました。地域の協力によって子どもたちの笑顔の輪を広げ、子どもを取り巻くさまざまな課題の解決や地域活性化につながることを期待しています。



### ～おにぎりニッコリプロジェクトに東湖南エリアで参加～ エリア統一「おにぎり食べますデー」開催！

東湖南エリア5カ店で、エリア統一「おにぎり食べますデー」を開催。東湖南エリアの役職員で163個のおにぎりを昼食に注文しました。おいしいおにぎりを食べるだけで、SDGsの達成・地方創生に寄与することができるこの取り組み。これからもグループ全体で継続して取り組んでまいります。

